

2025 年度 授業コード: 22115300

授業科目	＊貧困に対する支援					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	必修	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	木村 茂喜						
授業概要	健康で文化的な最低限度の生活を維持できない者に対する支援は、国家がその不足分について無差別平等に援助を行い、もって国民の生存権を直接保障する制度である生活保護制度を中心とした公的扶助制度が重要な役割を果たしている。貧困状態にある者や社会的に排除されている者に対して、福祉専門職が適切な援助を行うためには、公的扶助制度に関する全般的な知識が当然不可欠である。 本講では、公的扶助制度の理念、生活保護法の原理・原則、生活保護法を中心とした公的扶助制度の内容・手続、生活困窮者自立支援制度、低所得者層・ホームレスに対する施策のほか、現代の貧困問題や公的扶助制度が抱える課題について学習する。						
授業形態	対面授業（一部オンデマンド）			授業方法	学生の講義内容の理解度を確認するため、講義中および講義終了時に Google Form を使った確認テストを実施する。		
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	・低所得者層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要と実際についてある程度理解している。(DP2-1) ・生活保護法の原理・原則、保護の種類と内容、手続、管理運営体制についてある程度理解している。(DP1-1, 1-2) ・生活保護制度における専門職の役割と他職種との連携についてある程度理解している。(DP1-2, 2-1) ・低所得者層・ホームレスに対する諸施策について理解している。(DP1-1, 1-2) ・生活困窮者自立支援の目的と実際についてある程度理解している。(DP1-1, 2-3)						
理想的レベル	・低所得者層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要と実際について正確に理解している。(DP2-1) ・生活保護法の原理・原則、保護の種類と内容、手続、管理運営体制について正確に理解している。(DP1-1, 1-2) ・生活保護制度における専門職の役割と他職種との連携について正確に理解している。(DP1-2, 2-1) ・低所得者層・ホームレスに対する諸施策について正確に理解している。(DP1-1, 1-2) ・生活困窮者自立支援の目的と実際について正確に理解し、低所得者層の自立とその支援のあり方について考察することができる。(DP1-2, 2-3)						
評価方法・評価割合							
評価方法			評価割合（数値）			備考	
試験			50				
小テスト			30				
レポート							
発表（口頭、プレゼンテーション）							
レポート外の提出物							

第 13 回	テーマ：低所得者層に対する施策 ホームレス・子どもの貧困に対する施策、生活福祉資金貸付制度、無料低額宿泊所について解説する。
第 14 回	テーマ：公的扶助制度の歴史 イギリスと日本における公的扶助制度の歴史について解説する。
第 15 回	テーマ：公的扶助制度の課題 公的扶助制度を取り巻く現状と課題について解説する。
テキスト	増田雅暢・脇野幸太郎編『よくわかる公的扶助論』（法律文化社） そのほか、毎回の講義開始前に、レジュメを配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	中央法規出版編集部編『福祉小六法』（中央法規出版） 適宜、講義を理解する上で参考となる諸文献を挙げる。
課題に対するフィードバックの方法	小テストは提出後すぐに解答と解説が返却される。 コメントカードに書かれた質問、意見については、次回の講義の冒頭で回答や補足説明を行う。 定期試験終了後、解答例を Classroom に掲示する。
学生へのメッセージ・コメント	社会保障Ⅰ（２年前期・必修）および社会保障Ⅱ（２年後期・必修）の講義内容について、理解していることが望ましい。 新聞・テレビ等で取り上げられる、本講のテーマに関する最新の諸情報を入手しておくことが望ましい。